

## 一 般 質 問 通 告 表

平成24年第2回始良市議会定例会（6月20日（水） 午前9時開会）

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 萩原 哲郎	1. 西始良校区（始良ニュータウン）の活性化について	<p>始良ニュータウンは、造成以来約 35 年を経過、最盛期から世帯数・人口とも激減しつつある。</p> <p>当初は、商業施設・金融機関・保育所・郵便局等ができ、賑わう予定であったが、いまだに進歩のない現状である。</p> <p>西始良小学校の児童数も半減している中、逆に高齢者の増加が著しい。</p> <p>今までも保育所や商業施設・金融機関の要望を行っていたが、実現されていない。</p> <p>しかし、始良ニュータウンに保育所・学童保育所・福祉施設を設置したいと、頼もしい企業が出現した。</p> <p>（1）高齢者のデイサービスやホームヘルプサービス等の、介護問題に繋がる福祉施設や、児童増加に繋がる保育所・学童保育所の設置を多くの住民は望んでいる。</p> <p>企業・行政の協力なしでは、始良ニュータウンの活性化は見込めない。</p> <p>今回のチャンスを是非、実現するためにも、行政として設置に向けての、企業への協力はできないか。</p> <p>（2）現在の西始良小学校の児童数を維持していくためにも、残り少ない空き地（県営住宅前の空き地）を市で購入し、若い世代を育む、若年専用の市営住宅を設置し、始良ニュータウンの活性化を図る考えはないか。</p>	市長
1. 萩原 哲郎			市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 船津公園Bコート のベンチ・審判控 室・倉庫設置につ いて	<p>本年度も梅雨の時期に突入、しかし、ベンチ・倉庫設置の気配が感じられな い。</p> <p>今年も県外の試合も多く組まれていると聞く。</p> <p>スポーツを通じて、県内外の方々と親睦を図り、楽しむ場所にもなっている。</p> <p>選手の皆さんが、安心して試合に臨めるよう、早急にベンチ・審判控室・倉庫の設置をすべきではないか。</p>	市長
	3. 始良ニュータウン 近辺の道路改善対 策、側溝整備計画に ついて	<p>(1) 始良ニュータウン入口から高速道路までの、県道十三谷・重富線は、急勾配でカーブも多く、見通しも悪く、雑草も生い茂り、自転車通学生が危険にさらされ、交通事故が多く発生している場所でもある。</p> <p>雑草を年2回刈ってもらうように、お願いしていたが、実現されていない。</p> <p>この場所は、始良ニュータウンの玄関でもあり、今後の事故対策として、雑草の除去、危険路のカーブの改善策を、どのように考えているか。</p>	市長
1. 萩原 哲郎		<p>(2) 市道、始良ニュータウン46号線、延長520メートル区間、約360メートルが急勾配で側溝に蓋が無く、小・中・高校生の通学路にもなっている。</p> <p>梅雨時にもなれば水路の水の流れも速く危険箇所と明示されている。</p> <p>22年度の答弁では、年次的に改良工事を進めて行くとのことであったが、2年経過しても改善されない理由を問う。</p> <p>(3) 始良ニュータウン内の側溝蓋の開きがあり、自転車等の転倒事故が懸</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	4. 太陽光パネル補助制度について	<p>念される。</p> <p>改良工事に木材が使用されているが、腐食しており、点検改良が必要ではないか。</p> <p>また、道路を横断する側溝は、梅雨に入り豪雨となると側溝蓋を持ち上げ、危険度が増すために、蓋をグレーチングに替えるとのことであったが、改善されない理由を問う。</p> <p>東日本大震災の津波は、福島第一原子力発電所の大事故をもたらし、放射能の恐ろしさを、目の当りに感じた。</p> <p>原発はいかに危険で恐ろしいか、放射能は人間のDNAを破壊し、国土の居住を不能にしてしまう。</p> <p>原発に頼らない自然にやさしい、太陽光パネルを始良市も補助制度を実施し、大いに増やすべきである。</p> <p>ほとんどの市町村は、太陽光パネルの補助制度を実施している。</p> <p>我が始良市も、自然にやさしい、太陽光パネル設置に補助制度を実施する考えはないか。</p>	市長
2. 河東 律子	1. 配食サービスについて	<p>在宅の高齢者への自立支援策の一つとして旧3町とも、配食サービスが行われている。</p> <p>配食サービスの内容はそれぞれ若干の違いがあり、合併協議会における調整の方針は、</p> <p>○合併までに調整し、新市に引き継ぐ。</p> <p>○現行の通り、新市において3年以内に再調整する。</p> <p>とされている。</p> <p>24年度で合併3年目になるが、どのような方向で再編するようになるのか。</p>	市長
2. 河東 律子			市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 健康寿命について	<p>(1) 配食サービスの目的を問う。</p> <p>(2) 旧3町の配食サービスの大きな違いは何か。</p> <p>(3) 再編に当たっての課題は何か。方向性はどうなっているか。</p> <p>厚生労働省は24年6月1日、自立して健康に生活できる期間を示す「健康寿命」について専門家で作る厚生科学審議会の部会で示した。</p> <p>厚生労働省は2013～2022年度の国民健康づくり計画案に「健康寿命を延ばす」とする目標を盛り込むと発表している。</p> <p>「健康で長生き」は誰しものが願うことであるが、国の方針として「健康づくり計画」に盛り込まれるようである。</p> <p>(1) 健康寿命についてどのように考えているか。</p> <p>(2) 始良市の健康寿命は、男女それぞれ何歳か。</p> <p>(3) 健康寿命を延ばす方策としてどのようなことが考えられるか。</p>	市長
3. 出水 昭彦	1. 危険箇所の点検、改善について	<p>梅雨時期を前に、市内危険箇所の点検をどのように実施しているか。また、どう改善するか。</p> <p>(1) 蒲生地区新留橋から畜産共進所近辺は、以前より岩石滑落があり危険箇所と認識している。先日も巨岩が滑落して通過車両に危うく衝突するところであった。このような箇所の点検、</p>	市長



氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
4. 竹下日出志	2. 住民ニーズに合った公共交通システムの拡充（デマンドタクシーの導入）について	<p>日後にも、千葉県館山市で通学途中の児童を襲った同様の事故が起きている。通学路の安全確保を急がなければならない。</p> <p>(1) 先入観を持たず、子どもの視点で通学路の安全調査を実施する考えはないか。</p> <p>(2) 教育委員会の主導で、学校と警察署など関係機関と教職員、保護者などで構成する「通学路安全対策協議会」（仮称）を設置して、合同点検を行う考えはないか。</p> <p>(3) 通学路の危険箇所改善のため、予備費の活用を含め新たな対応を検討する考えはないか。</p> <p>(4) 農道等（用水路を含む）の通学路の安全対策として、歩道・安全施設・転落防止柵等を設置する考えはないか。</p> <p>(1) 高齢社会の対応として、高齢者が自由に病院や商店街に行くことのできる交通手段を確保するため、ドアからドアの送迎ができるデマンドタクシーを導入する考えはないか。</p> <p>(2) 児童・生徒をサポートするまちづくりとして、小さな子どもの通園・通学の送迎が安心できる。</p> <p>また、雨天時のみ利用する高校生にも対応でき、保護者の負担軽減策として、デマンド交通システムを導入する考えはないか。</p>	<p>市長 教育委員長</p> <p>市長 教育委員長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	3. 経営感覚を持った行財政運営について	<p>(3) 高齢者や運転免許証の返納者は、老人保養券を利用するための交通手段を求めている。地元タクシー事業者と本市が共同して、より便利で地域密着の交通サービスを実施して、地元の温泉に出かけられるように取り組む考えはないか。</p> <p>市民のニーズに的確に対応し、「最小の経費で最大の効果を上げる」ため、市税等自主財源の確保が求められている。</p> <p>加治木総合支所内では、市営駐車場95区画を設置して、平成22年度236万4,100円の歳入がある。</p> <p>今後、始良・蒲生総合支所内でも、市営駐車場を設置することで、自主財源の確保を図る考えはないか。</p>	市長
5. 新福 愛子	1. 小中学校の防災対策について	<p>学校は、いざ災害が起こった時、子どもたちだけでなく地域住民の命を守る重要な防災拠点となる。</p> <p>耐震化は確実に進んでいるが、天井材や照明器具、窓ガラスなどの非構造部材の耐震化の遅れが指摘されており、文科省は5月末に非構造部材の耐震対策を推進する調査研究事業をスタートさせた。</p> <p>本市の非構造部材の耐震点検を、どのように推進する考えかを問う。</p>	教育委員長
5. 新福 愛子	2. 子どもの健康支援について	<p>(1) 公費負担がある定期予防接種のポリオワクチンは、これまで生ワクチンが対象となっていた。しかし、承認されていないがウイルスを無毒化したより安全な「不活性化ワクチン」への</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 夏季対策について</p>	<p>強い要望が高まり、この度、不活性化ワクチンがようやく承認された。</p> <p>9月から不活性化ワクチンが定期予防接種の公費負担になる運びと聞かすが、本市の取組みを問う。</p> <p>(2) 麻しん・風しん予防ワクチンの未接種期間にあたる年齢層が出産年齢に入ってきた今、風しんが再び流行しており、不安視する声が上がっている。</p> <p>妊婦が風しんに感染すると胎児が障がいをもつ可能性が高くなると言われている。妊婦だけではなくパートナーや今後、妊娠の可能性のある方々への予防に対する周知をどのように図るかを問う。</p> <p>(1) 地球温暖化などの影響を受け、猛暑が続く中、夏が到来する。</p> <p>九州では電力不足が懸念され、特に午後からの電力使用に対し、クールビズにも「スーパー」がつくように、強い協力と努力を求められている一方で、特に高齢者の熱中症が懸念されている。</p> <p>対策として、保健師や民生委員等が訪問活動される際、熱中症計を持参し、高齢者に体感して貰いながら予防を呼びかける考えはないか。</p> <p>(2) 水不足対策や節水の意識向上のために、公共施設の女性トイレに「音姫」を設置する考えはないか。</p>	<p>市長</p>